



- 1/ 玄関から入りリビングダイニングを通して、中庭と和室を望む。
- 2/ 和室の障子と廊下の 3 枚引き戸を開放すると、庭と和室が一体に感じられる。
- 3/ 落ち着いたデザインの玄関収納。床石は諏訪鉄平石を使用した。
- 4/ リビングの TV 台。写真 3～6 はすべてナラ材を使用し統一した。
- 5/ ダイニング壁際の収納は、手前の家具（既製）ともよく似合っている。
- 6/ 2 階のご主人の書斎にも、オリジナルの机と本棚を設置した。

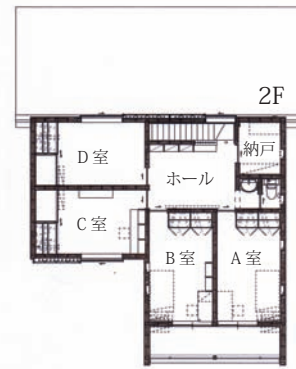
『囲い庭のある家』 完成現場報告

完成現場『囲い庭のある家』は、タイトルにも有る様に、中庭を囲い込む形で計画をたてています。この形は敷地と隣地の建物との関係から、必然的に計画されたものでした。



家族構成	夫婦、子供 3 人
敷地面積	195.43 ㎡
建築面積	117.07 ㎡
延べ床面積	176.20 ㎡
構法	在来木造構法 2 階建て
竣工	平成 20 年 7 月
外部仕上げ	
屋根	ガルバリウム鋼板 段葺き
外壁	吹付け仕上げ
外部建具	金属建具 (YKK) 木製建具 / 米ヒバ ガラス / ペアーガラス
内部仕上げ	
天井	さわら上小節板 杉突板目透かし竿縁 杉白無地
壁	ラスボード下地 漆喰コテ押え ジュラク塗り 珪藻土塗り
床板	ナラ無垢フローリング 厚 15mm 杉本実板加工 厚 30mm
内部建具	オリジナル木製建具 (杉・米ヒバ・ナラ)
設備	
キッチン	システムキッチン / TOTO
洗面	1F / TOTO 2F / INAX
浴室	壁 / 青森ヒバ本実板張り 厚 15mm 伊豆若草石張り 厚 24mm 天井 / 青森ヒバ本実板張り 厚 15mm 床 / 伊豆若草石張り 厚 24mm 浴槽・水栓 / INAX・TOTO
照明器具	National、アキワ、マックス
設計者	/ 山崎 健治
施工	/ 杉山工務店

仕様内容



プラン

この場所に、
どんな光が
入り込むだろう。



え、リビングダイニングや和室のどちらの部屋からも十分に中庭を楽しめるように、開放出来る大きな窓とデッキをそれぞれに配置しました。敷地の条件の中から生まれた囲い庭のプランですが、光や風を取り込むための機能性だけでなく、生活のゆとり、楽しみを合せ持つことのできる間取りになったと思います。そしてこの中庭が、家族の安らぎの場、また、日々の活力の源になる場となれば良いと思います。(文/コロコロ 山崎健治)

囲い庭のある間取りを楽しむ

中庭は観賞だけでなく、生活の中でも利用できて楽しめる庭になれば...と考

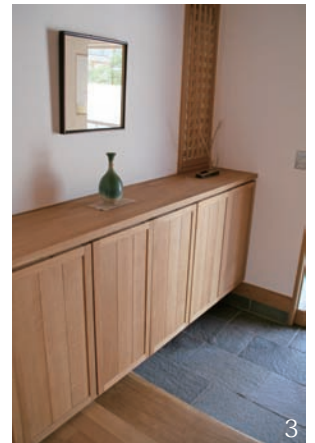
え、リビングダイニングや和室のどちらの部屋からも十分に中庭を楽しめるように、開放出来る大きな窓とデッキをそれぞれに配置しました。敷地の条件の中から生まれた囲い庭のプランですが、光や風を取り込むための機能性だけでなく、生活のゆとり、楽しみを合せ持つことのできる間取りになったと思います。そしてこの中庭が、家族の安らぎの場、また、日々の活力の源になる場となれば良いと思います。(文/コロコロ 山崎健治)

どんな光が入るのか

住宅のプランを考える時に大切なことは、光と風の計画です。その中でも光の計画をたてる時に特に考慮するべきなのは、日照時間の短い冬場にどの方向からどれだけの光が、どのくらいの時間入り込むかということです。『囲い庭のある家』では様々な土地に関わる条件の中、光を取り入れた計画が出来るかと当初は不安もありましたが、既存建物が解体されて土地の全貌が見えると、南側の建物と西側の建物の間に、光の差し込む場所がある事に気がつきました。『この場所にどんな光が入り込むのか?』と思い、朝・昼・夕と敷地に出かけ、光の差し込む時間帯や影の長さなどを図りました。光の動きを見ていると、午前中は難しいのですが、午後からは明るく暖かな光が十分に期待できると判断し、この場所に中庭を設け、その庭を囲んで部屋を配置していくプランを計画しました。中庭にはリビングダイニングと和室が面するよう配置し、お昼の光はリビングへ、夕方の光は和室へと差し込むように計画しました。

土地の条件を見る

まだ施主のKさんが土地を探している時、候補地の一つとして土地の紹介を受け、敷地を見に行きました。この時にはまだ以前の建物が残っており、道路からは敷地全体が把握できませんでした。北側道路の敷地で、南側と西側には建物が迫っていました。東側は契約駐車場が開けた感じが有りましたが、この土地もいつ建物が建ってもおかしくないと聞いた印象を受けました。



落ち着いた雰囲気のある外観。